

## 第8回 日本歯科衛生教育学会総会・学術大会開催のご案内

大会長 畠中 能子  
副大会長 濱元 一美  
実行委員長 大岡 知子

来る平成29年11月25日、26日に、関西女子短期大学において第8回日本歯科衛生教育学会総会・学術大会を開催することとなりました。

歯科衛生士という職種が誕生して早や70年が経とうとしています。歯科衛生士の歴史70年の中で、平成に入ってからの約30年間の歴史は“激動”といっても過言ではないと思います。“激動”であった背景には、少子超高齢社会の人口構造的変化、疾病構造の変化があります。この中であらためて明確になったのは、歯科衛生士は、人の誕生前からそして死ぬまで、すべてのライフステージに関わる職業であることです。口腔機能の維持向上がもたらす健康への影響は大きなもので、歯科衛生士はここに関与します。全身疾患管理が必要な方や要介護の方などリスクの高い方へのアプローチをする力も必要です。現在、地域包括ケアシステムが進められていますが、歯科衛生士は、保健・医療・介護のどの場においても多職種との連携が欠かせません。“激動”の中にある我々歯科衛生士養成教育の内容も、この社会的変動とともに変わってくるのも当然です。

第8回大会のテーマは、「歯科衛生学の確立に向けて—歯科衛生士に求められる視点—」と、いたしました。歯科衛生学の確立はまだ発展途上の段階と感じます。歯科衛生士を養成する我々には、保健・医療・介護のどの場でも活躍できる歯科衛生士を育成する責務があります。どの世界に飛び込んでも「コア」となるものがあれば、どの場でも花を咲かせてくれます。活躍できる場が増えれば増えるほど、歯科衛生士に必要な視点が増えてきます。では、歯科衛生士に必要な視点とはどのようなもののでしょうか。シンポジウムでは、「人に寄り添う歯科衛生士養成を求めて」とし、「教育する側」が新たな視点をそれぞれの心に発見していただけたらと思います。教育講演は、「歯周病学」において、最先端の研究をされているお二人の先生（天野敦雄先生、村上伸也先生）をお願いしております。長岡英一先生の特別講演は、歯科衛生士が予防業務にどれだけ貢献できる職業であるか、今更ながらに再認識できるかと思います。

本学が設置されている場所は、大阪府と奈良県との府県境にある柏原市に存在し、周辺地域には大学が多く存在し、文教の地でもあります。また、ぶどうの産地として有名です。どうぞ万障繰り合わせての皆様のご参加を心よりお待ちしております。

1. 会 期：平成29年11月25日（土）、26日（日）
2. 大会テーマ：「歯科衛生学の確立に向けて —歯科衛生士に求められる視点—」
3. 会 場：関西女子短期大学  
〒582-0026 大阪府柏原市旭が丘3丁目11-1
4. プログラム：11月25日（土）
  - (1) 教育講演Ⅰ 「科学する歯周病学」  
天野 敦雄先生  
(大阪大学大学院歯学研究科予防歯科学分野教授)
  - 教育講演Ⅱ 「歯周病学の未来」  
村上 伸也先生  
(大阪大学大学院歯学研究科歯周病分子病態学・歯周病診断制御学分野教授)

※教育講演Ⅰ・Ⅱは全衛協の講習会Ⅵとして読み替えます。講習会Ⅵのお申し込みにつきましては9月以降全衛協のホームページをご覧ください。

- (2) シンポジウム 「人に寄り添う歯科衛生士養成を求めて」  
コーディネーター：吉田 幸恵先生（神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科教授）  
シンポジスト：時岡奈穂子先生（特定非営利活動法人はみんぐ南河内副理事長）  
「管理栄養士の立場から」  
：由比 由香先生（大阪府立むらの高等支援学校養護教諭）  
「養護教諭の立場から」  
：田村 照美先生（居宅介護支援事業所管理者）  
「歯科衛生士の立場から」

**11月26日（日）**

- (3) 特別講演「長寿社会を健やかに生きる口腔管理」  
長岡 英一先生（鹿児島大学名誉教授）  
(4) 会員発表：口演発表，ポスター発表  
(5) ランチョンセミナー：ご案内は日本歯科衛生教育学会雑誌第8巻第2号でお知らせします。  
(6) 懇親会：11月25日（土）  
関西女子短期大学 学園本館2階 食堂

5. 会議等：下記会議を行う予定です。

11月24日（金）

- 14：00～15：00 常任理事会  
15：00～16：00 理事会  
16：00～17：00 評議員会

6. 一般演題募集（口演・ポスター発表）：

- (1) 応募締切：平成29年7月24日（月）必着 ※締切厳守でお願いします。  
(2) 発表形式：ご希望を尊重しますが、添えないことがあります。発表形式、日時ならびにプログラム編成は学会にご一任ください。  
(3) 演題採否通知：演題の採否は学会にご一任ください。  
演題の採否、発表形式、発表日時につきましては、発表者にメールまたは郵送にて通知します。

7. 宿泊：宿泊については各自でご準備をお願いします。